

新しい公園と交通を考える まちづくりワークショップ

第2回 NEWS

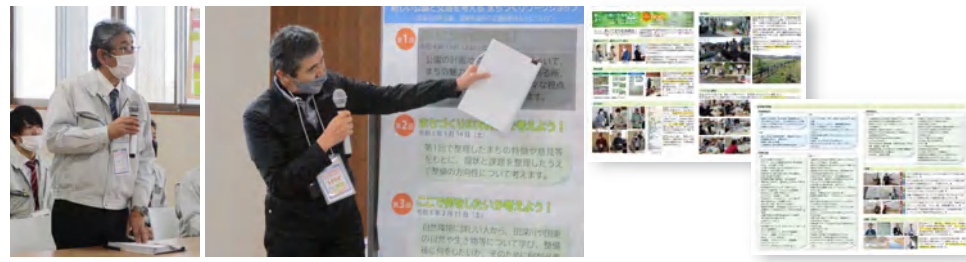
国東市役所 まちづくり推進課 まちデザイン係
電話:0978-72-5186 FAX:0978-72-9002

テーマ:まちづくりの方向性を考えよう!

令和5年1月14日(土)

第1回で整理した意見等をもとに、現状と課題を踏まえつつ、整備の方向性について考えます。

開会あいさつ、内容説明



伊藤課長

徳永氏

前回のワークショップニュース

事務局の伊藤課長から開会あいさつ後、前回同様にワークショップの進行を計画策定事業者の徳永氏に引き継ぎました。内容説明では、本日のスケジュールやワークショップルール等の確認、前回の振り返り等を行いました。

自己紹介



金のカップを持って自己紹介

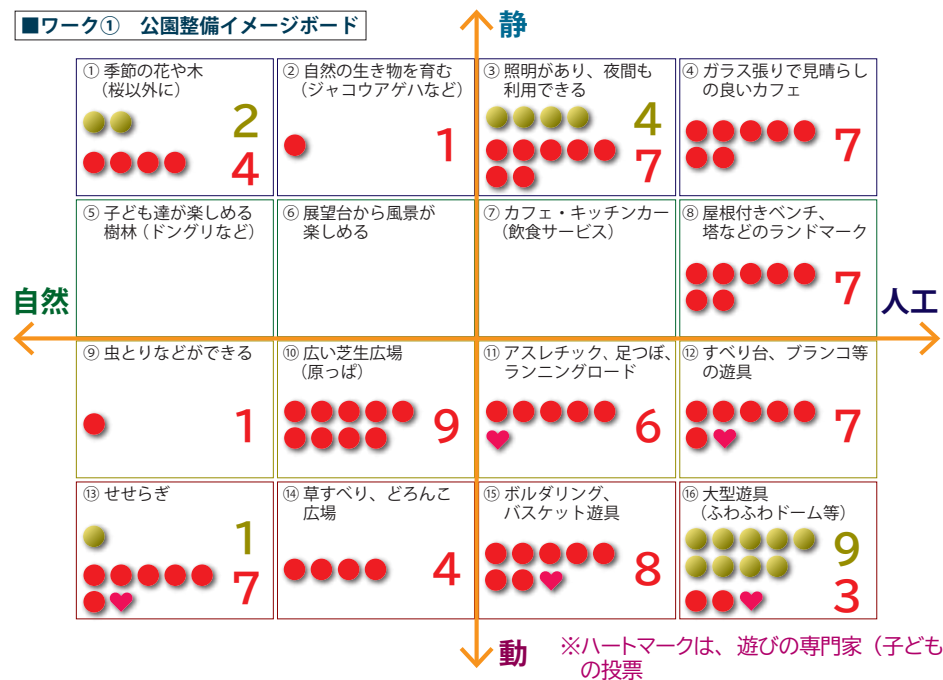
国東市の美味しい食べ物は

- ・シイタケ×5
- ・野菜
- ・ししべさんちのほうれんそう
- ・さかな×3
- ・鯛
- ・タチウオ
- ・タチウオ重
- ・米
- ・キウイフルーツ×2
- ・ジビエ
- ・オリーブオイル
- ・「T-1」で食べた「たこ唐揚」
- ・錦の豚骨ラーメン
- ・東から揚げ定食
- ・しょうがのあんかけうどん

がイチオシです。

今回の自己紹介時のテーマは、「国東市の美味しい食べ物」です。魚、野菜、米、果物など、国東市は美味しい食べ物がバラスよく食べられる贅沢な地域であることがわかりました。どうやら、食べ物の話は盛り上がりやすいようです。

ワーク① 利用イメージの検討



※著作権の都合によりイメージ部分は非表示としています。

前回のワークショップの成果をもとに、16のイメージについて投票を行いました。一人5つのシールを持ち、そのうち1つは金色です。金色は特に実現したい気持ちが強いところに貼ってもらいました。結果は、大型遊具、照明、芝生広場、せせらぎ、ボルダリング(以下省略)の順に票を集めました。全体的には「人工」と「動」寄りの傾向が見られました。

投票の様子



イメージボードの各象限毎に整理した写真と利用イメージの文章を見て、各班で話し合いました。追加したいイメージはポストイットに書いて貼りました。最後に各班の話し合いの内容を発表して共有しました。

班	①班	②班	③班
公園利用イメージ			
イメージ① (自然、静)	<p>・ペット可のグランピングがしたい!!</p> <p>・ドッグランがほしい</p> <p><文章アンダーライン箇所(概要)></p> <p>・赤ちゃんが安心して遊べる</p> <p>・芝生の上のテントの中でゆっくり</p> <p>・お花を植えるイベントに参加</p>	<p>・屋根の部分も必要(日よけ)</p> <p>・赤んぼうが開放的になれるような場所</p> <p>・自然としっかりふれ合うことの大切さ</p> <p>・四季の草木を順番に楽しんで パラ・コスモス・大神みたいなもの</p> <p>・保護者同志がコミュニケーションができる場に</p> <p>・展望台に望遠鏡が欲しい</p> <p>・キャンプ場みたいな施設がほしい</p> <p>・芝やゴムの地面</p> <p>・日よけのあるベンチを多数</p> <p>・泥あそびした後の手洗い場がほしい!</p>	<p>・家族でゆったり過ごせる空間(スペース)は必要 自然を五感で味わう</p> <p>・親が働いている環境のため、孫、ひ孫の守りが多々ある。0~3才児の危険性のない場所としてベターかな!</p> <p>・どんぐりの木は残すべき</p> <p>・デイキャンプ</p> <p>・バーベキュースペース</p> <p><文章アンダーライン箇所(概要)></p> <p>・トイレの近くにむつ替スペース</p>
イメージ② (自然、動)	<p>・シャワーがほしい</p> <p>・夏は水あそびがほしい_せせらぎ</p> <p><文章アンダーライン箇所(概要)></p> <p>・プレーパークで泥んこ</p> <p>・中学生がギターを弾く</p> <p>・朝早く虫捕り</p> <p>・小さな子供が遊べるせせらぎ</p>	<p>・天気のいい日にピクニック</p> <p>・川のワクに川の水を利用して水遊びをする 夏、秋、夏</p> <p>・虫とり、せみとりで多くのせみやカブトムシ(?)をなどをしてみる</p> <p>・自然の中でキャッチボール、ミニサッカーをしていくといいなあ</p> <p>・木琴</p>	<p>・生きもの、草花に感心を持たせることにより多感性が生まれるのかなー!</p> <p>・遊ぶ中で、缶・紙等の片付けも身に付けられると思う→自然環境、自然美点の確立</p> <p><文章アンダーライン箇所(概要)></p> <p>・大人も泥んこはうらやましい</p> <p>・せせらぎでカニ獲り</p>
イメージ③ (人工、静)	<p>・お母さんがゆっくりできる</p> <p>・照明のおかげで安心</p> <p><文章アンダーライン箇所(概要)></p> <p>・子どもを遊ばせつつ、お母さんがゆっくりできるカフェ</p> <p>・散歩コース</p> <p>・間接照明等の雰囲気の良い照明灯</p>	<p>・花火(夏)</p> <p>・桜の花見</p> <p>・スタバのような雰囲気だと話題づくりになる</p> <p>・(夜)ウォーキング</p> <p>・カフェの外でベンチに座って読書する</p> <p>・若者のデートコースになる</p> <p>・防犯のため</p> <p>・夜のジョギング</p> <p>・照明部にベンチ</p> <p>・カフェ周辺に分別ゴミ</p> <p>・川ぞいにフェンス</p>	<p>・治安を守る為に外灯は必要</p> <p>・友人と待ち合わせて集える場所、ベンチや屋根つきテラスでのんびりお茶してしゃべりたい</p> <p>・仕事をしている人が夜動きたい時に暗くても遊んだり運動できる(安心して)場所</p> <p><文章アンダーライン箇所(概要)></p> <p>・子どもを遊ばせつつ、お母さんがゆっくりできるカフェ</p> <p>・キッチンカー</p>
イメージ④ (人工、動)	<p>・ふわふわドーム 安心して見ていられる</p> <p>・世界一の足つぼロード</p> <p><文章アンダーライン箇所(概要)></p> <p>・子どもが喜ぶ公園</p> <p>・走行距離が分かるランニングコース</p>	<p>・ボルダリングコーナーがあって遊びたい</p> <p>・遊びの遊具はブランコ、すべり台、かわいい平均台などいいなあ</p> <p>・川の中にむかって草すべり</p> <p>・フワフワ遊具は必要 子どもたちに人気が出そう</p> <p>・ジョギングコース 散歩してまわるのもありかな</p> <p>・バスケットゴールはあってそれなりに広さがあるといいなあ</p> <p>・道ぞいに健康具、けんすい、腹筋(ストレッチ具)、遠心力遊具</p>	<p>・子どもの行き場所には両親又は祖父母も同行でき、自然との共生ができる→健康維持につながるであろう</p> <p>・各世代が遊べる施設(バスケットコート、スケートボード等)</p> <p>・ふわふわドームほしい(一斉に遊べる)(年齢問わずに5才までくらい)</p> <p>・国東の人が遠くに遊びに行かなくても、食、遊び、ストレス発散できる</p> <p>・ランニングコース 100m走の</p> <p>・陸上コース(ゴム)</p> <p>・整備</p>

発表の様子



ワーク② 河畔公園の位置付け（地域内の機能分担等）

①班



<発表内容>

- 川の両岸を活用できると良い。
- 橋の他に飛石等で、川の両岸にアクセスしやすくなる。
- 河畔公園を囲うように世界一長い足つぼロードを実現させる。

②班



<発表内容>

- 公園に遊具は必要。
- 駐車場は公園外の駐車場は位置も踏まえて検討。
- 花やせせらぎ等はくにさき公園側で。
- 河川敷にも照明を。
- 南側広場はそのまま。
- 小学校西側の広い土地は宅地化してはどうか。

③班



<発表内容>

- 大きい遊具は河畔公園、小さい遊具は南側広場に。
- 河川敷は自然をそのまま残して活かす。
- 河畔公園を中心として鶴川商店街まで桜の回廊をつくらせて人の流れをつくる。

広域的なエリアの中での機能分担について話し合いました。大まかな共通の傾向としては、自然系の要素は左岸側（くにさき公園側）へ寄せて、大型の遊具やカフェ等の主要な施設は河畔公園へという傾向が見られました。小学校西側の広い土地（主に農地）については、利便性の高い特性を活かした宅地化や広場化等の提案が見られました。また、河畔公園に全ての機能を詰め込むのではなく、エリア全体でバランス良く機能を配置することの重要性が確認されました。

講評（ワーク①～③）

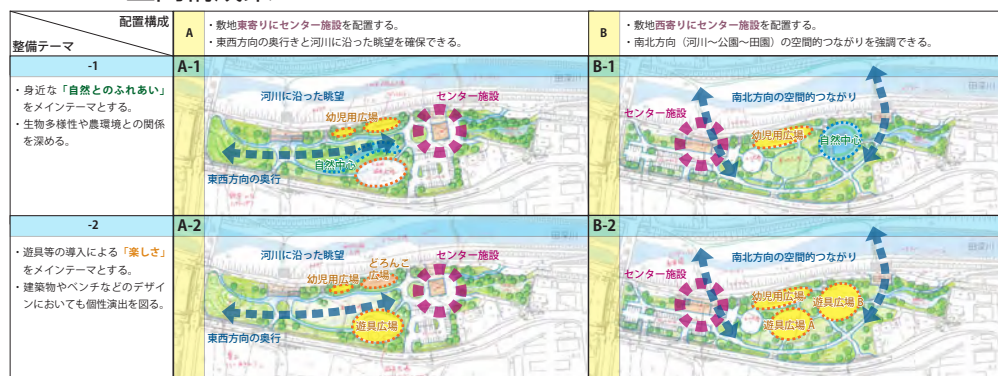


※説明の内容を図化しました。

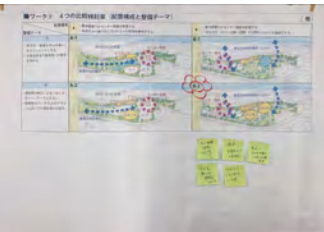
これまでの内容について、国東市まちづくりアドバイザーの佐藤先生（大分大学名誉教授）から講評いただきました。ワーク①では、斜めの軸として、左下が子ども向け、右上が大人向け、右下は河畔公園で実現、左上は他のエリアでも実現できると捉えられることなどが説明されました。ワーク③では、管理面等を考慮し、センター施設は敷地の重心の位置に配置する必要があること、敷地全体としては、田深川の流れる北側が自然、南側が人工、交通の多い西側が動、東側が静と捉えられることなどが説明されました。

ワーク③ 配置構成・整備テーマ

■4つの空間構成案



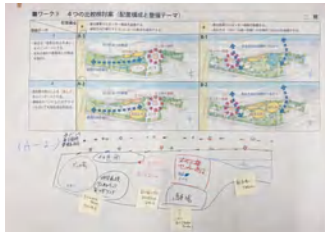
①班



<発表内容> (B-2)

- 他の駐車場とのバランスを考慮して配置できる。
- 小さい子供や荷物を持った移動等を考えると、駐車場から遊具までの動線はこの方が良い。
- 河川敷をきれいに。
- 雰囲気の良いおしゃれな照明が欲しい。

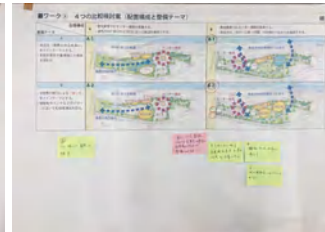
②班



<発表内容> (A-2)

- センター施設は公園中心に近い方に、またその近くに駐車場を置くアクセスしやすい。
- 中高生向けの施設も考慮すると良い。
- ウォーキングコースは、ベンチ、照明、健康遊具があると良い。

③班



<発表内容> (B-2)

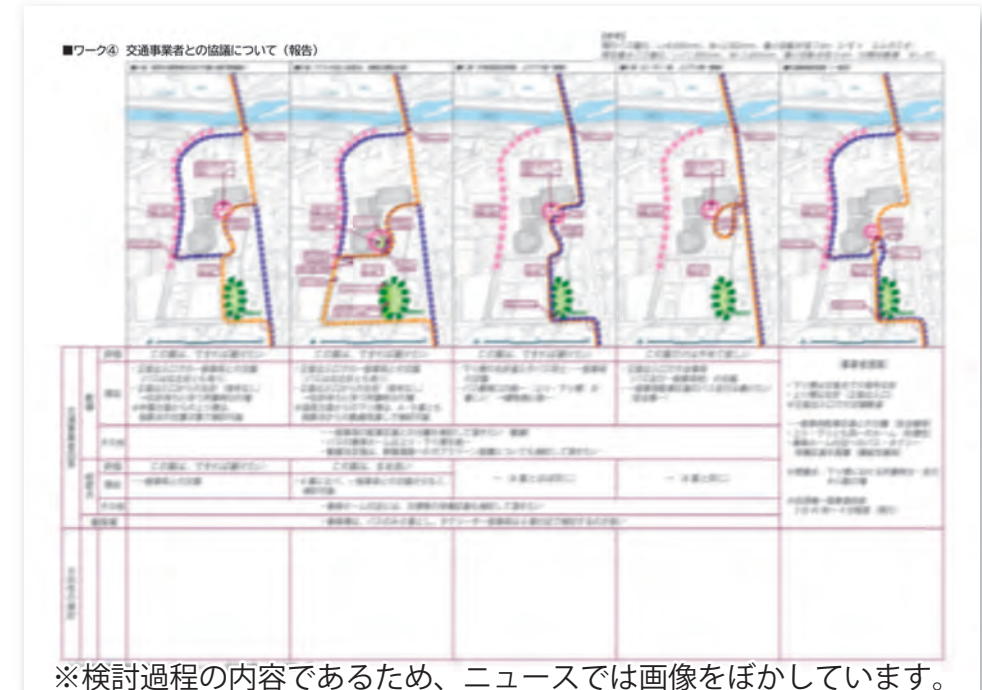
- 新しい道路整備後の朝の交通の現状を考慮しつつ、河畔公園西側に駐車場を持つことで、駐車場の位置が分散されて良い。
- 自然系の要素は川沿いに持っていく方が良い。

河畔公園の配置構成・整備テーマについて、どの案が最も良いか、またその理由等について話し合いました。①、③班は B-2、②班は A-2 が最もイメージに近かったようで、「楽しさ」をメインテーマとした構成が選ばれる傾向にありました。一方で、②班や③班では次善策として A-1 や B-1 にも〇が付けられるなど、自然系についても意識されていました。B-2 案の主な選定理由としては、他のエリアの駐車場との関係性が特に意識されていました。A-2 案の主な選定理由としては、センター施設の配置と利便性が特に意識されていました。

■検討の様子



ワーク④ 交通結節点のあり方（報告）



※検討過程の内容であるため、ニュースでは画像をぼかしています。

交通結節点については、バス等の交通事業者との協議も含めた検討の過程について報告しました。まずは前回のワークショップの意見を踏まえ、大きく4つの A～D 案を作成し、交通事業者の考える検討案を E 案として追加提示しました。協議結果報告として、近くの商業施設を考慮した利便性も含めて検討を進める必要があるとの認識に至ったこと、国道の改良、鶴川交差点の歩道橋の方針等、様々な条件が未確定なことを踏まえ、必要な調査を進めながら慎重に検討を進める必要があること等を説明しました。

まとめ、閉会



まとめとして、皆様の発言をもとに、徳永氏から3つのポイントが示されました。①国東市中心部全体が一つの公園のように捉えられること、②「季節」や「夜」等の、街を流れる時間が意識されていること、③「ここならではの」という基本に立ち返って考えること、の3つです。次回は、本日の大きな成果をもとに、一歩進めた提案をさせていただきます。

最後に、事務局から閉会のあいさつで閉会しました。ワークショップ後のアンケートでは、今回も多くの肯定的なご回答や建設的なご意見を頂きました。ありがとうございました。